

報道関係者各位

2020年11月10日
Shopify Japan 株式会社

Shopify Japanとヤマトフィナンシャルが 中国地方の個人・中小企業支援のために知見を講演 ～自社eコマースサイト構築方法の無料オンラインセミナーを開催～



175カ国で100万以上のショップが日々運営されている世界最大級のマルチチャネルコマースプラットフォームShopify（ショッピファイ）の日本法人Shopify Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表：マーク・ワング 以下：Shopify）と、クロネコヤマトでお馴染みのヤマトグループ内で決済サービスやEC（eコマース）ソリューションを提供するヤマトフィナンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木 達也 以下：ヤマトフィナンシャル）は、11月14日（土）に中国地方（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）でEC（eコマース）事業を行っているビジネスオーナー様向けに「ECやD2Cの開始を検討中の方必見！注目のShopifyで始める自社ECサイト構築方法」をテーマとしたオンラインセミナーを開催します。

ヤマトフィナンシャルは日頃より「お客様にとって有益な情報を積極的に提供したい」というお客様ファーストの思いのもと、Shopifyの持つ多様性や柔軟性に着目していました。また、岡山県のEC（eコマース）事業者様間で定期的に行われている情報交換会の中で「Shopifyについて知りたい」というご要望を多くいただいたことから、今回ヤマトフィナンシャル主催のShopifyに関するセミナーを開催することとなりました。Shopifyおよびヤマトフィナンシャルにとって、中国地方は重要地域でもあるため、今回は、岡山県のEC情報交換会のメンバーだけでなく中国地方の事業者様を対象としたセミナーとなっています。

<こういう方におすすめ>

- いま注目の、Shopifyについて知りたい方
- 国内向けにECを始める予定がある方
- 海外向けにECを始める予定がある方
- Shopifyの制作事例を知りたい方

- Shopifyに関する疑問を解決したい方

■オンラインセミナー概要

テーマ：ECやD2Cの開始を検討中の方必見！注目のShopifyで始める自社ECサイト構築方法

日時：11月14日（土）17:00～18:30

対象者：EC事業者、岡山EC情報交換会 ※今回は中国地方のお客様対象

会場：Zoomビデオウェビナーを使用したライブ配信

定員：100名（応募者が多数の場合には抽選とさせていただきます。）

費用：無料

申し込み方法：下記URLより必要事項を入力の上、登録してください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_hmPd9M4ySJ-KI_cRwiGKQ

主催：ヤマトフィナンシャル株式会社

協賛：Shopify Japan 株式会社

※詳しくはヤマトフィナンシャルホームページ内のセミナー情報を参照ください。<https://www.yamatofinancial.jp/seminar/index.html>

セミナー内容：

第1部：「マルチチャネルコマースプラットフォームShopifyとは？」

- ・Shopifyについて（概要、日本での展開について、特徴）

第2部：「Shopify(自社サイト)と楽天(モール)の売り方の違い」

- ・自社サイト/モールの市場動向
 - ・自社サイト/モールの購入ユーザーの違い
- ・Shopify楽天連携アプリの紹介
- ・Shopifyに対応している受注管理ソフトの紹介

■Shopifyについて

Shopify（ショッピングファイ）は、国内に限らず海外へのオンライン販売も、専門知識がない中で手軽に始められる、クラウド基盤のマルチチャネルコマースプラットフォームです。ウェブ、モバイル、ソーシャルメディア、マーケットプレイス、実店舗などの複数の販売チャネルを持つオンラインストアの作成、カスタマイズ、在庫連携、売上管理を簡単に行うことができます。プラットフォームには、ストアの経営者にとって強力なバックオフィス機能も備えられており、オンライン販売に必要なものすべてはShopifyで一元管理ができる、という手軽さが大きな特徴です。

2006年にカナダで設立されて以来、Shopify は小規模から中小企業、大手企業など、現在まで約175カ国で100万以上のオンラインストアをサポートしており、国内ではBASE FOOD（ベースフード）、Tabio（タビオ）、Go Go Curry（ゴーゴーカレー）、海外ではAllbirds（オールバーズ）、Heinz（ハインツ）、Staples（ステープルズ）、などの大手有名企業から世界的な著名人まで国内外において、多くのブランドより利用されています。